

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成28年4月14日 (2016.4.14)

【公開番号】特開2014-187520(P2014-187520A)

【公開日】平成26年10月2日 (2014.10.2)

【年通号数】公開・登録公報2014-054

【出願番号】特願2013-60539(P2013-60539)

【国際特許分類】

**H 0 4 N      5/74      (2006.01)**

**G 0 3 B    21/14      (2006.01)**

**G 0 3 B    21/00      (2006.01)**

**G 0 1 B    11/00      (2006.01)**

【F I】

H 0 4 N      5/74                      D

G 0 3 B      21/14                      Z

G 0 3 B      21/00                      E

G 0 1 B      11/00                      A

【手続補正書】

【提出日】平成28年2月25日 (2016.2.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 3 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 3 0】

そこで、本実施形態では、接合部分のずれを回避すべく、補正点 p 1、p 2、p 3、p 4、p 5、p 6 のうちの 5 つについてはユーザーが任意の方向に位置を変更できるようにする一方、残りの 1 つの補正点については、x 座標と y 座標のいずれか一方のみを設定可能とするようにユーザーによる補正点の操作に制限を設ける構成としている。一具体例として、以下の説明においては、補正点 p 1、p 2、p 3、p 4、p 6 については、ユーザーは操作パネル 8 0 又はコントローラー R C を用いて、その x 座標 及び y 座標の変更を指示することによりその位置を変更可能である。一方、補正点 p 5 については、ユーザーは y 座標の変更は指示可能であるものの、x 座標の変更は指示できず、補正点 p 5 の x 座標は上記の条件を満たすように、プロジェクター 1 により自動的に決定される。